

出向く宮農レポート

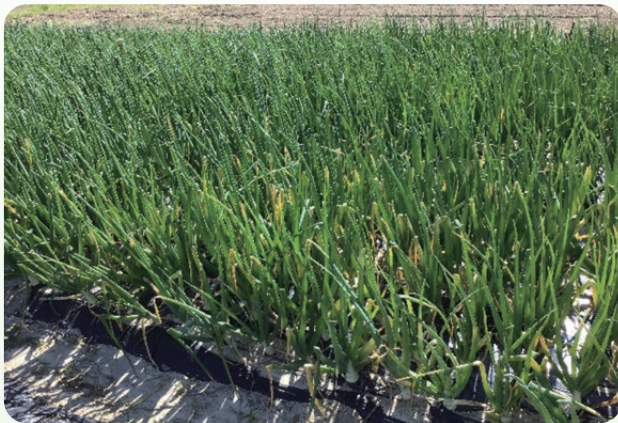
～たまねぎの防除について～



南部宮農センター豊明地区
石川 貴章

4月～7月が出荷最盛期であるたまねぎの栽培状況を確認するために、圃場巡回を行いました。

たまねぎは、害虫対策はもちろんのこと、病気の対策が重要です。気温が高く雨が多い年は注意が必要で、特に3月からの高温と降雨で病原菌が活発に動く可能性があります。発病してからでは対策が難しいので、発病させないように定期的な殺菌剤散布の指導を行っています。



● 昨年の圃場の様子(べと病の疑いあり)

品質の良いたまねぎを出荷するため、定期的に圃場確認をし、早期発見に努めています。



● 今年の圃場の様子(4月頃)



● 腐敗病のたまねぎ



発病してしまうと出荷はできません

● たまねぎに登録のある薬剤

- ・ダコニール1000
1,000倍 7日前まで
6回以内 (灰色かび病、白色疫病、べと病)
- ・ベンレート水和剤
2,000～3,000倍
6回以内 (灰色腐敗病等)



たまねぎは7月頃まで産直施設、給食センター、インショップへ出荷していきます。